

**令和 8 年度当初予算
令和 7 年度 2 月補正予算の概要**

商 工 部

商工部 令和8年度当初予算・令和7年度2月補正予算総括表

1. 一般会計

(単位:千円、%)

款名	項 名	16か月予算				16か月予算(今回提案)				比較			
		令和6年度 12月補正予算額 (経済対策)	令和6年度 2月補正予算額 (経済対策)	令和7年度 当初予算額	計	令和7年度 12月補正予算額 (経済対策)	令和7年度 2月補正予算額 (経済対策)	令和8年度 当初予算額	計	当初予算		16か月予算	
										増 減	伸 率	増 減	伸 率
A	B	C	D = A + B + C	E	F	G	H = E + F + G	G - C	G / C	H - D	H / D		
7 款 商 工 費	1 項 商 業 費	(939,523)	(3,886,555)	(7,164,185)	(11,990,263)	(7,983,739)	(608,890)	(7,878,763)	(16,471,392)	(714,578)	(110.0)	(4,481,129)	(137.4)
		939,523	3,886,555	233,640,185	238,466,263	7,983,739	608,890	222,672,763	231,265,392	△ 10,967,422	95.3	△ 7,200,871	97.0
	2 項 工 鉱 業 費	0	1,591,835	7,197,603	8,789,438	1,232,379	555,193	8,823,337	10,610,909	1,625,734	122.6	1,821,471	120.7
	3 項 観 光 費	0	0	3,901,326	3,901,326	0	0	4,275,335	4,275,335	374,009	109.6	374,009	109.6
合 計		(939,523)	(5,478,390)	(18,263,114)	(24,681,027)	(9,216,118)	(1,164,083)	(20,977,435)	(31,357,636)	(2,714,321)	(114.9)	(6,676,609)	(127.1)
		939,523	5,478,390	244,739,114	251,157,027	9,216,118	1,164,083	235,771,435	246,151,636	△ 8,967,679	96.3	△ 5,005,391	98.0

※ 上段()書きは、制度融資を除いた予算額。

2. 特別会計

会計名	16か月予算				16か月予算(今回提案)				比較			
	令和6年度 12月補正予算額 (経済対策) A	令和6年度 2月補正予算額 (経済対策) B	令和7年度 当初予算額 C	計 D = A + B + C	令和7年度 12月補正予算額 (経済対策) E	令和7年度 2月補正予算額 (経済対策) F	令和8年度 当初予算額 G	計 H = E + F + G	当初予算		16か月予算	
									増 減 G - C	伸 率 G / C	増 減 H - D	伸 率 H / D
小規模企業者等設備 導入資金貸付事業	0	0	375,750	375,750	0	0	353,676	353,676	△ 22,074	94.1	△ 22,074	94.1

目 次

1. 県経済の原動力・中小企業の成長・発展

○中小企業収益力向上支援費	1
○中小企業経営支援費	3
○中小企業人材確保・育成支援費	5
○中小企業振興資金融資費	7

2. 北部九州自動車産業サプライチェーンの強靱化

○北部九州自動車産業サプライチェーン強靱化費	8
------------------------	---

3. 世界で勝負できる成長産業の育成・集積

○スタートアップ応援費	9
○グリーン成長プロジェクト推進費	10
○新たな成長産業創出事業費	12
○飯塚研究開発センター機能強化費	14

4. 国内外からの集客拡大による観光産業の振興

○観光振興費	15
--------	----

令和8年度当初予算・令和7年度2月補正予算の重点施策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
中小企業収益力向上 支 援 費 〔 中 小 企 業 稼 ぐ 力 強 化 支 援 費 中 小 企 業 振 興 資 金 融 資 費 小 規 模 事 業 者 の 賃 上 げ に 向 け た 稼 ぐ 力 強 化 支 援 費 〕 (中小企業技術振興課) (中小企業経営支援課)	一部新規	千円 1,540,622	千円 11,668	<p>県内中小企業の「稼ぐ力」を高め、持続的な賃上げを実現するため、「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター」の伴走支援によるDXの推進や、新商品開発・販路開拓支援、価格転嫁の推進等により賃上げ環境の整備を行う。</p> <p>1. ⑨「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター（仮称）」の設置 151,543千円 「福岡県中小企業DX推進センター」を国の支援策（よろず支援拠点生産性向上支援センター事業）を活用して大幅に機能強化し、「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター（仮称）」へとリニューアル。中小企業のDX導入はもとより、生産性向上、さらには日産の生産移管を睨んだ自動車関連産業支援まで、ワンストップで支援。</p> <p>(1) 福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター（仮称）の概要 [場所] 福岡県中小企業振興センター（JR吉塚駅東口） [時期] 令和8年春 [概要] DXや生産性向上アドバイザー、CASEプロモーターが企業を訪問し、伴走支援するとともに、県や国の各種補助金の活用を促進</p> <p>〔12月補正〕 ○業務のDX等により生産性を向上させ、賃上げに取り組む中小企業を支援 841,073千円 ・「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センターのアドバイザーの支援を受け実施する、DX・生産性向上に資する設備導入等を支援</p> <p>(2) ⑨「DX・生産性向上支援資金」を創設 融資枠300億円 ・中小企業のDX・生産性向上を促進するため、中小企業制度融資において保証料補てんを実施 [融資上限額] 1億円 [融 資 利 率] 1.60% [保 証 料 率] ・福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター（仮称）の支援を受けDX等に取り組む企業(0.45～1.90% → 0.225～0.95%) ・生産性向上に取り組む中小企業(0.45～1.90% → 0.45～1.62%)</p> <p>2. 新商品開発や販路開拓を支援 1,307,747千円 (1) ⑨小規模事業者の賃上げに向けた稼ぐ力を強化〔2月補正〕 241,939 ・国の持続化補助金に採択された小規模事業者への県費上乘せ補助を実施 [補 助 率] 1/12（国の補助率2/3と合わせ、補助率3/4） [補助上限額] 562,500円～2,812,500円(国、県の補助額との合算)</p>
【センター体制図】				
<div><div>福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター</div><div><div>DX支援事業</div><div>生産性向上支援事業</div><div>先進モビリティ産業支援事業</div></div><div>補助金コンシェルジュ</div></div>				

令和8年度当初予算・令和7年度2月補正予算の重点施策

事項名	区分	予算額	前年度予算額	事業の概要
中小企業収益力向上 支援費	一部新規	千円	千円	(2) ⑨中小企業の販路開拓を支援 48,461 ・首都圏等で開催される中小企業向け大規模展示会への出展回数や企業数の拡大により、 販路開拓を強化
（中小企業） 販路開拓強化費				(3) ⑩地域の中小企業の新たな事業展開や販路開拓支援を強化 94,829 ・地域中小企業支援協議会の重点支援企業が行う新商品開発などの取組に対する助成を拡充 [補助率] 1/2（小規模事業者は2/3） [補助上限額] 課題挑戦型：500千円 成長・発展型：1,500千円
未来にはばたく 中小企業応援費				(4) ⑪ものづくり中小企業の技術高度化による収益力強化を支援〔2月補正〕 555,193 ・工業技術センターに企業ニーズの高い先端機器を導入※し、中小企業の試作製品化や、保有 技術の高度化を支援
技術高度化による 中小企業収益力強化費				(5) ⑫「福岡県中小企業成長投資・賃上げ応援補助金」の創設 367,325 賃上げに取り組む中小企業の先端成長分野等における挑戦を後押しするため、県の各種 補助金の補助率を、賃上げ幅に応じて嵩上げ [対象補助金] 半導体後工程関連製品開発補助、宇宙ビジネス製品・サービス開発補助など [補助率] 1/2 → 30円以上60円未満：2/3、60円以上：3/4
中小企業成長投資・ 賃上げ応援費				3. 持続的な賃上げに向けた中小企業の価格転嫁を支援 81,332千円
（中小企業価格転嫁 円滑化・賃上げ支援費）				(1) ⑬価格交渉や価格転嫁に関する相談を受け付ける「価格転嫁相談窓口（仮称）」を 福岡県中小企業振興センターに設置 8,794 ・価格交渉の仕方などを指導・助言できる専門家を配置
(中小企業経営支援課) (中小企業技術振興課) (商工政策課)				(2) 協定締結13団体と連携した「価格転嫁円滑化推進大会」及び街頭啓発活動、業界向け 講習会、中小企業賃上げ応援専門家派遣の実施 72,538 【大会開催時期】10月（想定） 【大会参加者】協定締結団体や各種業界団体等700人
※導入機器の例				
研究所名		導入設備		
機械電子研究所		半導体製造装置や自動車向け金属材料の高機能化のため加工装置、分析装置		
化学繊維研究所		リサイクル材料（樹脂や繊維）の高機能化のための分析装置、試作装置		
インテリア研究所		建築材料の難燃性能向上のための分析装置		
生物食品研究所		食品の機能性付与、機能性向上のための分析装置		

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
中小企業経営支援費	一部新規	千円	千円	県経済の原動力である中小企業の事業継続と成長を支援するため、経営改善や資金繰り、事業承継等について、事業環境に応じたきめ細やかな支援を行う。
（ 小 規 模 指 導 費 事 業 費 ）		4,332,320	4,096,305	1. 中小企業の経営支援を強化 4,211,710千円 （1）商工会議所・商工会の経営指導員による経営改善指導 4,115,979 商工会議所・商工会に配置した経営指導員による経営改善指導等により、中小企業・小規模事業者の金融から経営革新、事業継続力強化まで経営全般を支援
中小企業経営改善 支援体制強化費				（2） 新 「経営改善サポートデスク」を開設 64,912 ・早期の経営改善に取り組む中小企業への支援体制を強化するため、新たに経営改善サポートデスクを中小企業振興センターに開設 ・専門家派遣による販路拡大や新商品開発の支援を強化
中 小 企 業 支 援 情報アプリ開発費				（3） 新 中小企業の支援情報アプリを開発 30,819 ・中小企業の課題に適した支援情報を A I 検索機能により簡単に調べられるアプリを開発
中 小 企 業 振 興 資 金 融 資 費				（4） 新 「経営改善促進特別融資」を創設 融資枠 4 0 0 億円 ・物価高等により厳しい状況にある中小企業の経営改善を支援するため、令和 8 年度に限り保証料を低減した特別融資を創設 [融資上限額] 1 億円 [融 資 利 率] 1 . 4 0 % [保 証 料 率] (0.45～1.75% → 0.15～1.17%)
（中小企業経営支援課）				<div>〔 1 2 月 補 正 〕 ○経営革新計画に基づき売上増加を推進し、中小企業の賃上げ環境を整備 391,306 千円 ・経営革新計画に基づき売上の増加に取り組む中小企業に対し必要な経費を助成</div> 2. 中小企業の持続的な成長を支援 87,710千円 （1） 新 中小企業の事業継続力を強化 37,411 災害や感染症等の経営リスクに備えた実効力の高い事業継続力強化計画策定・更新のため、専門家による伴走支援を実施

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
<p>中小企業経営支援費</p> <p>（事業承継に向けた 中小企業収益力強化費 中小企業のM&Aによる 事業承継支援費 がんばる商店街 若手人材育成支援費 がんばる商店街 応援事業費）</p> <p>（中小企業経営支援課）</p>	一部新規	千円	千円	<p>（2）円滑な事業承継を支援 50,299</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新事業承継計画を策定した中小企業の販路開拓やデジタル技術導入等の取組に対する助成 ・M&A仲介業者への手数料や企業価値算定等の諸費用を助成 <p>〔補助率〕 1/2（小規模事業者は2/3） 〔補助上限額〕 500千円</p> <p>3. 商店街の振興 <u>32,900千円</u></p> <p>（1）新商店街のがんばる若手経営者を育成 5,770</p> <p>市町村・商工団体と連携し、若手経営者グループによる地域の商店街振興に向けた活動を支援</p> <p>（2）商店街の後継者対策、施設整備、集客イベント等の取組を支援 27,130</p> <p>〔補助対象者〕 商店街、商工会、商工会議所 等 〔補助率〕 1/3（市町村補助額の範囲内で助成） 〔補助上限額〕 5,000千円</p>

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
<p>中小企業人材確保・育成支援費</p> <p>〔技術系企業人材育成・確保支援費〕</p> <p>小規模事業者人材確保支援費</p> <p>(中小企業経営支援課) (商工政策課)</p>	一部新規	千円 524,957	千円 149,215	<p>中小企業の次代の担い手となる人材の確保・定着を図るため、県内中小企業の魅力を発信し、認知度向上を図るとともに、人材の確保・育成に取り組む中小企業への支援を行う。</p> <p>1. 県内中小企業の魅力発信 45,892千円</p> <p>(1) ⑧技術系企業の優れた技術に触れるオープンファクトリーや、情報発信会を実施 22,892</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンファクトリーへの参加意欲を高めるセミナーや先進地域への企業視察団派遣を実施 ・オープンファクトリー参加企業に対する、施設改修等の受入環境の整備を支援 <p>〔補助率〕 1／2以内 〔補助上限額〕 2,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術系企業を一同に集めた情報発信会を開催し、多くの学生等に企業の魅力を発信 <p>(2) ⑧小規模事業者の人材確保の取組を支援 21,000</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所・商工会が行う事業者の職場紹介動画の作成や会社見学会の開催を支援 <p>(3) ⑧県内中小企業による「長期有償型インターンシップ」を支援 2,000</p> <p>学生の実務経験を通じ、県内中小企業の魅力を知ってもらうため、長期有償型インターンシップ(2週間程度)を受け入れる県内技術系企業に対し、費用(賃金)の一部を助成</p> <p>〔補助率〕 1／2以内 〔補助上限額〕 50千円</p> <p>2. ものづくり人材の育成 55,671千円</p> <p>(1) キッザニア福岡と連携した教育プログラム「テクノロジー人材創生塾2026」を実施 27,158</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催にあたっては、土日での開催や福岡会場に加え、北九州会場を設置 ・体験学習を中心としたプログラムを新たに作成 <p>〔テーマ〕 グリーンデバイス、グリーンモビリティ、宇宙 〔受講者数〕 各テーマ80名→160名</p>

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
<p>中小企業人材確保・育成支援費</p> <p>（福岡半導体高度人材育成拠点形成費 トラック運転手確保対策費 奨学金返還助成による中小企業人材確保支援費 インド高度人材活用調査費）</p> <p>（中小企業経営支援課） （商工政策課）</p>	一部新規	千円	千円	<p>（2）半導体人材の育成を強力に推進 28,513</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学生向けに半導体の全製造工程見学会やエンジニアとの交流会を実施 ・新リスキリングセンター受講終了証としてオープンバッジを導入し、キャリアパスの明確化を行うことで、受講者の学習意欲を向上 <p>3. 中小企業を支える人材の確保・定着 <u>417,421千円</u></p> <p>（1）トラック運転手の確保を支援〔2月補正〕 366,951 トラック運送事業者（県内に事業所を有する中小企業及び小規模事業者に限る）が実施する地域物流を担う人材の参入促進に向けた働きやすい職場環境整備に係る経費に対し補助 [補助率] 1／2 [補助上限額] 500千円</p> <p>（2）新奨学金返還支援による中小企業の人材確保を支援 50,470</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手人材の確保に向け、奨学金の代理返還や手当等の支給を行う中小企業への助成を実施 <p>[補助率] 1／2 [補助上限額] 500千円（年・社）</p> <p>4. 外国人材の活用 <u>5,973千円</u></p> <p>（1）新インド高度技術人材の確保に向けた調査を実施 中小企業の人材確保のため、高度技術人材が豊富なインドにおいて、政府機関、大学とのネットワーク構築等に向けた現地調査を実施</p>

令和 8 年度 当初 予算 ・ 令和 7 年度 2 月 補正 予算 の 重点 施策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
中 小 企 業 振 興 資 金 融 資 費 (中小企業経営支援課)	一部 新規	千円 215,327,000	千円 226,476,000	<p>県の資金を金融機関に預託し、金融機関の中小企業者に対する低利融資を促進することにより、中小企業の資金繰り円滑化を図る。</p> <p>中小企業融資制度</p> <p>(1) 融資枠及び預託額 <u>214,048,000 千円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体融資枠 8,001億円 (R7: 8,676億円) うち新規融資枠 3,285億円 (R7: 3,285億円) ・預託額 2,141億円 (R7: 2,258億円) <p>(2) ⑨「経営改善促進特別融資」を創設 融資枠400億円(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高等により厳しい状況にある中小企業の経営改善を支援するため、令和8年度に限り保証料を低減した特別融資を創設 [融資上限額] 1億円 [融 資 利 率] 1.40% [保 証 料 率] (0.45～1.75% → 0.15～1.17%) <p>(3) ⑨「DX・生産性向上支援資金」を創設 融資枠300億円(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業のDX・生産性向上を促進するため、中小企業制度融資において保証料補てんを実施 [融資上限額] 1億円 [融 資 利 率] 1.60% [保 証 料 率] ・福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター(仮称)の支援を受けDX等に取り組む企業(0.45～1.90% → 0.225～0.95%) ・生産性向上に取り組む中小企業(0.45～1.90% → 0.45～1.62%) <p>(4) 信用保証協会への保証料補填 <u>746,000 千円</u></p> <p>中小企業者の負担軽減のため、保証料率の引下げを行い、その減収分を補填</p> <p>(5) 緊急経済対策資金等信用保証料補填臨時基金への積立 <u>533,000 千円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点支援地方交付金を活用した経営改善促進特別融資の保証料補てん(一律0.3%引下げ)の実施にあたり、後年度負担(R9～R12年度)を基金に積立

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
北部九州自動車産業 サプライチェーン 強 靱 化 費 (自動車・水素産業振興課) (企 業 立 地 課)	新規	千円 550,714	千円 0	<p>日産九州の生産移管等を契機としたサプライチェーンの強靱化を集中的に進めるため、サプライヤーの戦略的な誘致や設備導入、試作・開発への支援を行うとともに、地元サプライヤーに対する支援体制を強化する。</p> <p>1. ⑧ サプライヤーの戦略的な誘致や設備投資の促進 541,000 千円</p> <p>(1) 設備投資に対する支援 500,000</p> <ul style="list-style-type: none"> 増産に対応するための設備の移設や新設を支援 〔補 助 率〕 1/2 (ただし賃上げを実施する中小企業は最大 3/4) 〔補助上限額〕 20,000 千円 (30,000 千円) <p>(2) 試作・開発に対する支援 40,000</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進モビリティの開発等に対応するための試作・開発を支援 〔補 助 率〕 1/2 (ただし賃上げを実施する中小企業は最大 3/4) 〔補助上限額〕 4,000 千円 (6,000 千円) <p>(3) 個別相談会の開催 1,000</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地情報や新たな設備投資支援に関する情報提供 <p>2. ⑨ 地元サプライヤーに対する支援体制の強化 9,714 千円</p> <p>(1) 自動車メーカーや大手サプライヤーに対して現地調達の拡大に向けた 地元サプライヤーの視察会を実施 525</p> <p>(2) 地元サプライヤーの生産性向上やD X推進からマッチングまで一貫して支援する 9,189 体制を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター(仮称)」を設置し、企業のD X、生産性向上、先進モビリティの開発・生産について、国の機関と一体的な支援を実施(再掲) 補助金等の相談にワンストップで対応する補助金コンシェルジュの配置 大手サプライヤー等から現地調達のニーズを聞き取り、地元サプライヤーとのマッチングを促進するため「現調化推進アドバイザー」を拡充

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
<p>スタートアップ応援費</p> <p>〔 N E X T ユニコーン 創 出 推 進 費 アトツギ・サッシン ベンチャー創出育成費 〕</p> <p>(スタートアップ推進課)</p>	新規	<p>千円</p> <p>159,502</p>	<p>千円</p> <p>31,512</p>	<p>県スタートアップ支援拠点「グローバルコネクト福岡」において、スタートアップ・ベンチャー・中小企業の資金調達・ビジネスマッチング、海外展開等を支援する。</p> <p>1. ⑧グローバルに活躍する「N E X Tユニコーン」を創出 <u>81,079千円</u></p> <p>(1) 「福岡県N E X Tユニコーン育成(スパーク)プログラム」の実施 56,881</p> <p>・大きな成長が期待できるディープテック企業を「福岡県N E X Tユニコーン候補」として選定し、事業戦略の磨き上げや海外V Cとのネットワーキングなど集中的な伴走支援を実施</p> <p>(2) バイオスタートアップの海外からの資金調達のため、専門家による伴走支援を実施 19,022</p> <p>・バイオ分野の海外市場動向に詳しいアドバイザーを配置し、企業の資金調達を個別にサポート</p> <p>・英語を前提とした海外V C・企業へのPRに必要な知識・技術の習得及びマッチングを支援</p> <p>(3) スタートアップのトライアル商品・サービス認定制度の創設 5,176</p> <p>・スタートアップの革新的な新商品・サービスを認定する制度を創設し、県が試験的に導入することで、民間への販路拡大を支援</p> <p>2. ⑧アトツギ・サッシンベンチャーの育成支援を強力に推進 <u>78,423千円</u></p> <p>(1) アトツギ・サッシンジャンプ支援の拡大 61,719</p> <p>・新たな商品・サービスの開発を支援するアトツギ(若手後継者)・サッシン(第二創業者)ジャンプの支援社数を倍増</p> <p>〔支援社数〕25社→50社</p> <p>(2) 「アトツギ・サッシンフェス」の開催 9,784</p> <p>・有名アトツギ・サッシンによる講演・トークセッション、県内アトツギ・サッシンによるピッチ、ブース出展等</p> <p>【日程】 10～11月</p> <p>(3) 「アトツギ・サッシンストア」の開催 6,920</p> <p>・大手百貨店等においてアトツギ・サッシンが開発した新商品の展示・販売を実施</p>

令和8年度当初予算・令和7年度2月補正予算の重点施策

事項名	区分	予算額	前年度予算額	事業の概要
グリーン成長プロジェクト推進費		千円	千円	世界的なカーボンニュートラルの動きが加速する中、本県が持続的に発展していくため、「グリーンデバイス開発・生産拠点協議会」「北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議」「水素グリーン成長戦略会議」を中心としたグリーン成長産業を支援することにより、経済と環境の好循環を目指す。
（新生シリコンアイランド九州推進費）	一部新規	290,169	175,866	1. グリーンデバイス開發生産拠点の形成 67,476千円 （1） 新 「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた九州各県との連携プロジェクト 18,619 ・台湾の大型展示会「SEMICON Taiwan」への九州パビリオン出展や台湾半導体企業を招へいした九州合同商談会開催により、地元企業の取引拡大を推進 〔事務局〕福岡県・熊本県・九経連 〔福岡県の出展企業数〕展示会10社、商談会12社 （2） 新 「AIデバイス*」の開発から販路拡大まで強力に支援 48,857 ・県内AIデバイス関連企業の新製品開発を支援 〔補助率〕1/2（ただし賃上げを実施する中小企業は最大3/4） 〔補助上限額〕7,500千円（11,250千円） ・日本最大のデジタル技術展示会「CEATEC」に出展し、県内AIデバイス関連企業の新製品のPRやビジネスマッチングを実施 〔出展企業数〕4社
AIデバイス開発・取引拡大推進費				2. 北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想の推進【再掲】 549,714千円 （1） 新 設備投資に対する支援 500,000 ・増産に対応するための設備の移設や新設を支援 〔補助率〕1/2（ただし賃上げを実施する中小企業は最大3/4） 〔補助上限額〕20,000千円（30,000千円） （2） 新 試作・開発に対する支援 40,000 ・先進モビリティの開発等に対応するための試作・開発を支援 〔補助率〕1/2（ただし賃上げを実施する中小企業は最大3/4） 〔補助上限額〕4,000千円（6,000千円） （3） 新 自動車メーカーや大手サプライヤーに対して、現地調達の拡大に向けた地元サプライヤーの視察会を実施 525 （4） 新 地元サプライヤーの生産性向上やDX推進からマッチングまで一貫して支援する体制を整備 9,189 ・大手サプライヤー等から現地調達のニーズを聞き取り、地元サプライヤーとのマッチングを促進するため「現調化推進アドバイザー」を拡充
自動車サプライチェーン強化費				
（先端技術産業振興課） （自動車・水素産業振興課）				
※AIデバイスとはインターネットを介さず自律的に認識・判断・行動するAIを組み込んだ電子機器のこと（AIカメラ、AI自動収穫ロボット等）リアルタイムで異常検知や分析、自動制御を行うことが可能となるため、製造業の現場等での活用が大きく期待される。				

令和8年度当初予算・令和7年度2月補正予算の重点施策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
グリーン成長 プロジェクト 推進費	一部新規	千円	千円	3. 水素グリーン成長戦略の推進 222,693千円 (1) 水素トラックの導入推進 129,291 ① ^新 水素エンジントラックの導入を支援 30,000 ・ディーゼルトラックからコンバージョン※した水素エンジントラックの導入を支援 ※ベースとなる車両に付加価値のある改造を加えること 〔補助率〕改造費の1/4（国補助率3/4の残りを支援） 〔補助上限額〕15,000千円 ② FCトラックに対応した水素ステーションの運営費を支援 77,400 〔補助率〕1/2（ただし賃上げを実施する中小企業は最大3/4） ③ FCトラックの既存燃料（軽油）と水素価格の差額を支援 18,000 ④ FC大型トラックの試乗会を開催 3,891 (2) 水素関連産業に係る人材の育成 5,951 ① ^新 中高生を対象とした水素分野の人材育成プログラムを実施 2,738 ・九州大学、久留米高専と連携し、水素エネルギー実践ツアーを開催 〔参加者数〕各40名程度 〔日程〕各2日間 ② 企業を対象とした水素分野の人材育成講座を実施 3,213 (3) 水素関連製品の開発支援 50,000 〔補助率〕1/2 〔補助上限額〕10,000千円 (4) 大型展示会への出展支援 6,360 (5) 戦略会議等、産学官連携による戦略の推進 31,091
〔水素グリーン成長戦略推進費〕 (自動車・水素産業振興課)				

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
新たな成長産業 創出事業費		千円	千円	本県の未来を担う、世界で勝負できる成長産業の創出、振興、発展を図る。
〔「Fukuoka Bio Open Gateway」形成推進費 宇宙ビジネス振興費〕	新規	290,555	0	1. ⑨世界とつながるバイオスタートアップエコシステム「Fukuoka Bio Open Gateway」を形成 171,715千円 これまで福岡バイオコミュニティで培ってきた強みを活かし、「ファーマテック（創薬・再生医療）」「フードテック（機能性表示食品等）」「ヘルステック（睡眠等）」の3分野の取組を重点的に推進 (1) ファーマテック分野 133,644 A I ・デジタル技術を活用し、海外展開可能な革新的医薬品や再生医療等製品の研究開発を支援する「福岡バイオコミュニティ・ソーシャルインパクトプロジェクト」の実施 (2) フードテック分野 18,562 九州大学のA I 技術、生物食品研究所の食品開発の知見を活用した機能性表示食品の届出支援 (3) ヘルステック分野 6,300 久留米大学「スリープラボ」と連携した睡眠関連商品の開発支援 (4) 富裕層の健康意識が高いアジアの都市における商談会の開催 13,209
「F★SBAL」 「Fukuoka Space Business Acceleration Lounge（仮称）」				2. ⑨宇宙ビジネスの振興 40,551千円 (1) 宇宙ビジネス支援拠点「F★SBAL（略称）」の開設 4,523 ・宇宙ビジネスに取り組む企業への相談窓口対応や支援メニューの紹介 ・宇宙ビジネスの専門家による製品開発の助言や取引候補企業の紹介 ・JAXAと共同で設立するAPRSAF実行委員会の事務局を設置 (2) 産学官による「福岡県宇宙ビジネスアライアンス（仮称）」の設立 2,518 ・「宇宙ビジネス創出拠点」構築に向けた取組をさらに加速させるため、「福岡県宇宙ビジネス研究会」を改組し、新たな宇宙ビジネス推進組織のもと、産業界のニーズや大学の優れた知見を反映した宇宙ビジネス振興の施策を展開 (3) APRSAF（2027年福岡開催）に向けた機運醸成 15,564 ・令和9年の福岡開催に向け、JAXAと共同で実行委員会を設置 ・県内でのイベントの開催や首都圏で行われる展示会へのPR出展 ・令和8年APRSAF（タイ国開催）への福岡県ブース出展
【参考】アジア・太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF） 〔内 容〕 アジア・太平洋地域における宇宙の平和的利用の促進と拡大、社会・経済への応用等について議論する場 〔会議構成〕 国際会議（本会合）2日間 分科会（衛星利用、教育、産業等6分科会）2日間 計4日間 〔参加機関〕 JAXA、文部科学省、アジア・太平洋地域の政府機関、宇宙関係機関、研究者、民間事業者等 （約40の国・地域、約500人）				

令和8年度当初予算・令和7年度2月補正予算の重点施策

事項名	区分	予算額	前年度予算額	事業の概要
新たな成長産業創出事業費	新規	千円	千円	(4) 「宇宙福岡食」の開発支援 9,832 ・ 県の名物・特産品を利用した福岡らしい宇宙食の開発に取り組む県内企業へ、開発経費や宇宙食認証に必要な検査試験費用を助成 [補助率] 1/2 (ただし賃上げを実施する中小企業は最大3/4) [補助上限額] 3,000千円 (4,500千円)
（メディカルクロス福岡プロジェクト推進費 福岡発ロボット医療機器による遠隔手術実現プロジェクト費）				(5) SAR衛星データを利用した防災やインフラ管理等のためのシステム開発を支援 8,114 ・ SAR衛星データを用いることで、本県が有する課題の解決に取り組む企業を支援 [補助率] 1/2 (ただし賃上げを実施する中小企業は最大3/4) [補助上限額] 7,000千円 (10,500千円)
(先端技術産業振興課)				3. ⑧医療福祉機器産業育成のための「メディカルクロス福岡」プロジェクトを推進 22,289千円 ・ 医療福祉機器ネットワークを活用し、ものづくり企業の技術と飯塚病院など地元医療機関の現場ニーズを掛け合わせ（クロスさせ）、販売業者も参画し、関係者が連携して市場性が見込める医療福祉機器の開発を推進 8,822 ・ 医療機器分野への事業参入・強化に向けた出張技術提案会の開催 5,957 ・ 革新的な医療機器の開発に向け、薬事規制に関する専門家による相談対応等の支援体制を構築 7,510
SAR（Synthetic Aperture Radar：合成開口レーダー）衛星とはレーダーを使用して、昼夜・天候を問わず高い解像度の観測ができる衛星。				4. ⑧福岡発ロボット医療機器による遠隔手術実現プロジェクトを推進 56,000千円 ・ ふるさと福岡県応援基金を活用し、手術支援ロボットを遠隔で使用するためのソフトウェア開発及び実証に対して支援

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
<p>飯塚研究開発センター 機 能 強 化 費</p> <p>（e-ZUKA TECH GUILD 事 業 費</p> <p>メ ディ カ ル ク ロ ス 福 岡 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 費</p> <p>ものづくり生産性向上 中核人材育成事業費</p> <p>も の づ く り 企 業 デ ジ タ ル 化 人 材 育 成 費</p> <p>（先端技術産業振興課） （商 工 政 策 課）</p>	新規	千円 51,433	千円 24,787	<p>地域における産業振興をより一層推進するため、「福岡県飯塚研究開発センター」における「I T スタートアップ」「医療福祉機器産業」「自動車産業をはじめとする中小ものづくり企業」の支援機能をさらに強化する。</p> <p>1. ⑨ I Tスタートアップ創出拠点「e-ZUKA TECH GUILD（仮称）」を設置 <u>24,592千円</u> 九州工業大学情報工学部と隣接する飯塚研究開発センターの立地を活かし、企業や学生・ 研究者が集う共創の場「e-ZUKA TECH GUILD（仮称）」を設置 ・企業が抱える課題に学生・研究者がチャレンジする協働プロジェクトを、専門家による伴走 支援のもと推進 ・プロジェクトにより生まれた優れたシーズや成長が期待されるビジネスモデルに対し、経験 豊富な起業家が伴走支援を実施 ・磨き上げたビジネスプランを評価するコンテストを実施</p> <p>2. ⑨ 医療福祉機器産業育成のための「メディカルクロス福岡」プロジェクトを推進【再掲】 <u>8,822</u> ・医療福祉機器ネットワークを活用し、ものづくり企業の技術と飯塚病院など地元 医療機関の現場ニーズを掛け合わせ（クロスさせ）、販売業者も参画し、関係者 が連携して市場性が見込める医療福祉機器の開発を推進</p> <p>3. 中小ものづくり企業への支援 <u>26,841千円</u> トヨタ自動車九州が立地しているという強みを活かして、中小ものづくり企業のデジタル化 による業務効率化、省力化といった課題に対応する技術の習得を目指す講座を開催</p> <p>（1）ものづくり生産性向上中核人材の育成講座 <u>13,810</u> ・3次元設計、I Tを活用した金型、めっき、生産・品質管理の製造基盤技術講座を開催</p> <p>（2）現場直結型デジタル化人材育成講座 <u>13,031</u> ・地域での先進企業の協力を得て、生産効率の向上や現場に直結した実践的なデジタル 基礎技術を習得できる現場技術者向けの講座を開催</p>

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
観 光 振 興 費 (観 光 政 策 課) (観 光 振 興 課)	新規	千円 1, 035, 565	千円 587, 457	<p>国内外からの観光需要を本県に着実に取り込み、県内各地への周遊を推進するため、観光需要喚起のためのキャンペーンや、食、温泉、文化、伝統工芸といった本県の特徴を活かした魅力ある観光資源の磨き上げや情報発信、欧米豪等からの誘客のための戦略的なプロモーションを行う。</p> <p>1. 国内外の観光需要を拡大 <u>685, 941千円</u></p> <p>(1) 「ふくおか平日おトク旅」観光キャンペーンの実施 362, 870</p> <p>平日閑散期の旅行需要を喚起するため、平日閑散期に県内宿泊施設(政令市を除く)に宿泊した旅行者に対し、宿泊代金の一部を助成</p> <p>[補 助 率] 宿泊代金の20%</p> <p>[補助上限額] 3, 000円</p> <p>[実 施 時 期] 5月～7月 (GW後から夏休み前迄)、12月～2月 (年末年始除く)</p> <p>(2) ⑧「G o ! F u k u o k a」観光キャンペーンの実施 323, 071</p> <p>・訪日客を呼び込むため、県内宿泊施設(政令市を除く)に宿泊した訪日客に対し、宿泊代金の一部を助成</p> <p>[補 助 額] 定額3, 000円</p> <p>[実 施 時 期] 5月～2月</p> <p>・訪日客の県内周遊を促進するため、訪日客向け「よかバス」の利用者に対し、料金の一部を助成</p> <p>[補 助 率] 料金の1/2</p> <p>[実 施 時 期] 5月～2月 (予定)</p> <p>2. 県内周遊バスツアー「よかバス」の認知向上を強力に推進し、県内各地への周遊を促進 <u>174, 726千円</u></p> <p>(1) 「よかバス」の商品造成・催行支援 76, 931</p> <p>県内を周遊するバス旅行商品の催行に要する経費を助成</p> <p>[補助額] 日帰り：5 万円 (催行保証あり：10万円)、1泊2日：10万円</p> <p>(2) ⑧「よかバス」のプロモーション強化 97, 795</p> <p>主要都市圏(宮城、広島)でのローカル旅番組の活用や、福岡の魅力を伝える動画の制作発信、抽選で「よかバス」チケットが当選するキャンペーン等により、プロモーションを強化</p> <p>※宮城：直行便数(航空機)が他主要都市と比較して多い</p> <p>※広島：三大都市圏と九州エリアを除く主要都市で、福岡への宿泊数が最も多い</p>

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
観 光 振 興 費	新規	千円	千円	<p>3. ⑧フィッシングツーリズムの推進 18,063千円 ・釣り初心者から中級者、富裕層といったターゲット別に、釣り体験、食事、観光、宿泊を一体化した「オールインワン・フィッシングツアー」のモデルツアー造成等により、旅行商品造成を促進</p> <p>4. ⑧欧米豪・中東からの誘客を強化 26,490千円 ・フランス、アメリカ、中東からの旅行者の嗜好に合わせた高付加価値な旅行商品を造成するとともに、現地旅行会社へのセールスや航空会社と連携したプロモーションを実施</p> <p>5. ユニバーサルツーリズムの推進 73,236千円 (1) ⑧誰もが安心して旅行を楽しめるよう観光施設の段差解消や案内設備の充実などユニバーサルデザイン化のための設備整備を支援 60,142 [補 助 率] 1/2 [補助上限額] 5,000 千円 (2) ユニバーサルツーリズム対応施設やモデルコースの情報を県観光情報サイトで発信 13,094</p> <p>6. 伝統工芸の魅力を発信 34,606千円 (1) 伝統工芸産地のオープンファクトリー化の推進 25,381 ・⑧令和7年度にオープンファクトリー化に取り組んだ、久留米絣産地の魅力や体験内容などの情報を国内外に向けて発信 (WEB 記事やターゲット広告) ・⑧小石原焼産地における工房見学や製作体験を提供可能な体制づくり (設備改修等) を支援</p> <p>(2) ⑧「来て！見て！触れて！福岡の伝統工芸 特設ブース」を首都圏等の百貨店に出展 6,725 百貨店で開催される「福岡物産展」に特設ブースを設置し、職人による製作実演や製作体験会を開催</p> <p>(3) ⑧産地組合と連携し、伝統工芸品の情報発信や新商品開発等に取り組む学生団体を支援 2,500 若い感性を活かした多様な取組 (学生主催のイベント等) を後押しし、伝統工芸品産業の活性化を推進 [補 助 率] 1/2 [補助上限額] 500 千円</p>
(観 光 政 策 課) (観 光 振 興 課)				

令和 8 年 度 当 初 予 算 ・ 令 和 7 年 度 2 月 補 正 予 算 の 重 点 施 策

事 項 名	区分	予 算 額	前年度予算額	事 業 の 概 要
観 光 振 興 費	新規	千円	千円	<p>7. ⑨「食の王国・福岡」ガストロノミーツーリズムを推進 <u>15,401千円</u></p> <p>(1) 旅行商品の造成・販売支援を実施 <u>3,778</u></p> <p>ガストロノミーツーリズムを推進するため、ガラパーティを核とした旅行商品の企画・造成とモニターツアーを実施</p> <p>(2) 東京クリスマスアドベント in 上野公園における「食の王国・福岡」プロモーションを実施 <u>11,623</u></p> <p>福岡県ブースを出展し、市町村と連携しながら、首都圏および海外からの来場者に対し、福岡県の「食」と「観光」の魅力を一体的にPR</p> <p>8. ⑨新潟県との連携を推進 <u>7,102千円</u></p> <p>食・酒・ものづくり・世界遺産などの両県共通の強みを活かした地域間交流を促進するため、新潟県と連携し、食に関する観光情報を発信</p>
(観光政策課) (観光振興課)				